

教材名 空気砲	授業名 生活
学部 高等部 対象となるグループ 念形成の初期の段階にあり、教師だけでなく友達とのやり取りやかかわりを意識しながら、学習に取り組む段階の生徒	
写真（教材、使用場面など） <div style="text-align: center;">  </div>	
ねらい <ul style="list-style-type: none"> ・つかむ・つまむ・ひっぱる・はなすなどの手指の基本動作の巧緻性を高める。 ・モンスターカードを倒すことで、目と手の協応動作の向上を図る。 ・モンスターカードと組み合わせ遊び感覚で用いることで、学習の動機づけとして活用する。 ・空気砲でモンスターをやっつける喜びを学習のご褒美（強化子）としても活用する。 	
工夫した点 <ul style="list-style-type: none"> ○ 応用行動分析の手法を取り入れ、①手がかり（教示「あかは？」）→②行動（選択肢を選択）→③結果（正誤の確認）の3つのステップを1回と数えて、その1回を繰り返して行くことで見本合わせ課題を進めています。これらの学習により、「空気砲でモンスターをやっつけることができているから、もっとやりたい」「もっとやりたいから、教師のいうことも聞けちゃう」という「学びの姿勢」が身につくことが期待できます。このように、QOL（生活の質）の向上につながる「学びの姿勢」を学ぶ学習になるようにも心がけています。 ○ 作成で工夫した点については、試作1号の紙コップ空気砲は、すぐにつぶれてしまった。そのため、試作2号は耐久性を考えてボディ部分を紙コップからプラスチック製の箸立てに変え耐久性の向上を図りました。また、止め玉を通すことで摘みやすくなりました。 	
児童生徒の様子 <ul style="list-style-type: none"> ○ 空気砲でモンスターをやっつけることを楽しみにしていて、学習への動機づけになり、学習の切り替えができました。また、空気砲でモンスターをやっつけたいことから学習のご褒美（強化子）として活用もできています。 ○ 左手でつかむ力の弱い生徒は、左手で抱えることで空気砲を打つことができています。また、右手で引っ張る力の弱い生徒については、教師が右ひじを持って引っ張る支援をしています。 	
その他（材料、作成費用、購入先など） 参考文献 『3・4・5歳児の保育に 作ってあそべる製作ずかん』 今野道裕(2013) 材料 箸立て、ゴム風船、止め玉、ビニールテープ（432円 税込）ダイソー ※ゴム風船部分は、使用すると劣化していくので1か月ほどで交換する必要があります。 モンスターカードのイラストは「いらすとや」よりダウンロードしました。	